

第4章 リーディングプロジェクト

- 1 豊かな自然・歴史・文化を未来へつなごう
- 2 快適な生活環境をみんなで守ろう
- 3 循環型社会を構築し、脱炭素や気候変動に適応するまちにしよう



吾国山

本計画を推進していくうえで、全体を先導していく施策をリーディングプロジェクトとして位置づけ取り組んでいきます。

リーディングプロジェクトについては、全体を先導するために最も効果的な施策として、3つの施策の柱を主体として、全体の取組を図ります。なお、リーディングプロジェクトは、第5章に掲げる取組により推進するものとします。

1 豊かな自然・歴史・文化を未来へつなごう

自然との共生や共存ができる社会の実現に向けて、自然や歴史・文化財とのふれあいの場や機会を創出し、自然環境の保全などに対する意識を高め、行動を促す必要があります。また、本市には、豊かな自然・歴史・文化が数多くあり、それらを未来へつなげるためには、自然環境や史跡などの文化財をみんなで守っていく必要があります。

◆プロジェクトの概要◆

- 多様な生物の生息地となる、自然公園、環境保全地域、里山、水田、水辺などの適切な保全、緑地の整備・保全を推進します。
- 数多くの史跡・文化財・民俗伝承などを保存するだけでなく、その魅力をさらに探求し、文化資源として教育などに活用し、積極的な情報発信に努めます。

コラム 地域での森林整備など

石岡市の森林組合では、市内の小学生親子に森林の役割や木の大切さ、水源保護活動について学んでもらうことを目的として、2018年10月に企業の主催イベントとして「森に学ぼうプロジェクトin茨城いしおか」を開催しました。このイベントでは、間伐体験や木工工作体験を行いました。

また、市内には他にも企業による林野庁の法人の森制度を利用した、育林活動が2005年から2065年まで行われます。



2 快適な生活環境をみんなで守ろう

快適な生活環境を守るためには、公害防止対策や道路整備、環境衛生の向上などを推進する必要があります。また、環境教育や環境学習の場の機会を創出し、環境保全、生活環境保全などの普及・啓発などを支援する必要があります。

◆プロジェクトの概要◆

- 市民・事業所・行政が一体となって、生活の質の維持向上を目指し、道路、水道、下水処理などのインフラ整備を充実させ、生活環境の維持・保全に努めます。
- 市民・事業所への環境に対する意識の向上を図るため、複雑・多様化する環境問題の情報を収集し、出前講座やホームページなどで周知することに努めます。

コラム ツクバハコネサンショウウオ

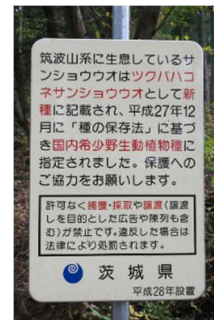
筑波山塊の溪流にはツクバハコネサンショウウオが生息しています。

以前はハコネサンショウウオとされていましたが、平成25年(2013年)にハコネサンショウウオとされていた種が全国的に見直され、筑波山に生息しているハコネサンショウウオとされていた個体群は新種として「ツクバハコネサンショウウオ」という新しい名前が付けられました。

筑波山塊の溪流にのみ生息する種であることから、平成27年(2015年)12月1日に種の保存法(絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律)で国内希少野生動植物種に追加指定され捕獲、譲渡などが禁止されており、保護もされています。



ツクバハコネサンショウ



3 循環型社会を構築し、脱炭素や気候変動に 適応するまちにしよう

市民一人ひとりが生活スタイルを見直し、ごみの発生を抑制するとともに、資源を有効に活用し、環境への負荷を極力減らすことが重要です。

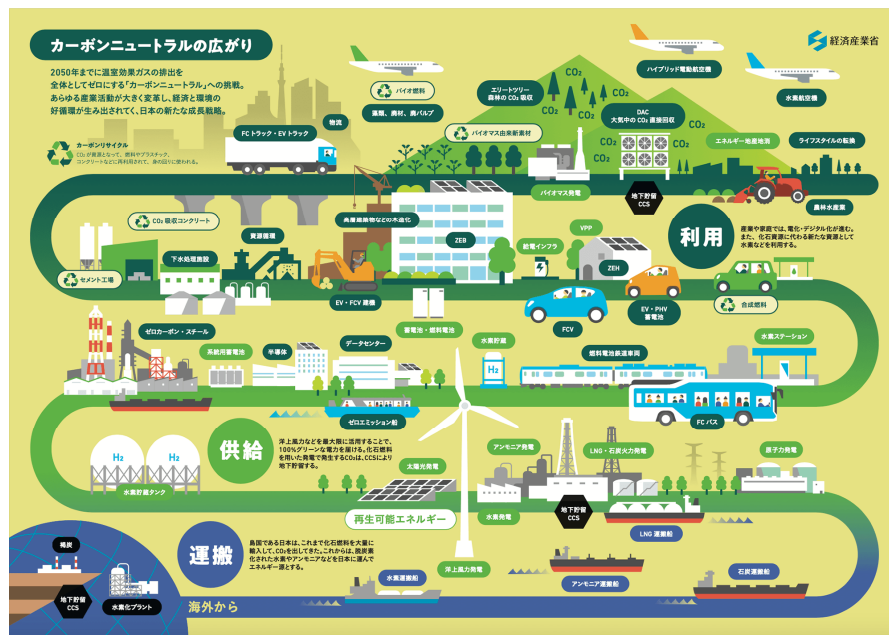
また、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入の推進、地球温暖化が原因とされる異常気象などの対策として、温室効果ガス排出量の削減のための「緩和策」と気候変動による影響に備えた「適応策」の対策に取り組む必要があります。

本市では、脱炭素や地球温暖化(気候変動)などについて国や県と連携しながら推進を図ります。

◆プロジェクトの概要◆

- 生ごみやプラスチックごみの減量と資源化、食品ロス対策など、家庭や事業所からのごみのさらなる減量化・資源化を進めていくとともに、市民・事業所・行政が協力し、3R の取組を進め、循環型社会の構築を目指します。
- 再生可能エネルギーの推進など環境保全の取組を行い、自然環境の維持・保全に努め、脱炭素社会を推進します。
- 地球温暖化(気候変動)に適応するため、暑熱による生活への影響(熱中症対策)や浸水被害・土砂崩れなどの災害対応への取組を推進します。

◆カーボンニュートラルの広がり



【出典:経済産業省 HP】